

新しく2か所の市民の森が開園しました

「川和市民の森」「鍛冶ヶ谷市民の森」は、横浜みどり税を活用し、横浜みどりアップ計画で保全したものです。

川和市民の森

所在地：都筑区川和町 面積：約3.5ha



川和市民の森は都筑区内では初となる市民の森として4月1日に開園しました。コナラ林や竹林など里山の雑木林が広がり、散策路や広場、富士山や周辺の自然環境が眺望できるデッキなどが整備されています。川和連合町内会が中心となって愛護会を結成していただき、巡回や清掃活動を行っていただいています。

アクセス：市営地下鉄グリーンライン「川和町」駅徒歩10分

鍛冶ヶ谷市民の森

所在地：栄区鍛冶ヶ谷二丁目 面積：約2.9ha



鍛冶ヶ谷市民の森は、鎌倉街道沿いの住宅地に囲まれた場所に良好な樹林地を活かし、3月29日に開園しました。森の中には、古墳時代の横穴墓(宮ノ前横穴墓群)が良好な状態で保存され、雑木林や竹林の尾根上に整備された散策路により、自然と歴史を感じることで市民の森となっています。鍛冶ヶ谷市民の森愛護会によって日常の維持管理を行っていただいています。

アクセス：JR根岸線本郷台駅から徒歩20分

ウエルカムセンターが5館体制になりました

ウエルカムセンターは、横浜みどりアップ計画に基づき市内既存施設を活用し整備された、森の情報を発信し森の魅力を伝える拠点施設です。平成24年度までに「横浜自然観察の森 自然観察センター」、「新治里山公園 にいはる里山交流センター」を整備し、平成25年度に新たに「寺家ふるさと村 四季の家」、「舞岡ふるさと村 虹の家」、「環境活動支援センター 交流スペース」が加わり市内5館となりました。

周辺緑地の散策情報や生き物などの情報発信、森を知り楽しむ講座を行いますので、ぜひご利用ください。☆森に関する講座を順次開催予定です。詳しくは、各館にお尋ねください。



寺家ふるさと村 四季の家 (青葉区寺家町)

里山の自然、農村文化の紹介のほか、野鳥や野草の観察会などを行っています。

横浜市青葉区寺家町414
045-962-7414

新治里山公園 にいはる里山交流センター (緑区新治町)

観察会や自然体験型教室の開催、団体利用等の際のポイント解説など、北の森の拠点施設として機能していきます。

横浜市緑区新治町887
045-931-4947

環境活動支援センター 交流スペース (保土ヶ谷区狩場町)

親子向け自然体験型教室や間伐材を利用したクラフト教室の開催を通じて、森の普及啓発などを進めていきます。

横浜市保土ヶ谷区狩場町213
045-713-6350

舞岡ふるさと村 虹の家 (戸塚区舞岡町)

里山の自然、農村文化の紹介のほか、野鳥などの観察会や写真教室を開催していきます。

横浜市戸塚区舞岡町2832
045-826-0700

横浜自然観察の森 自然観察センター (栄区上郷町)

レンジャーが常駐しており、小学校の宿泊体験学習や企業CSR受入れ等、南の森の拠点施設として機能していきます。

横浜市栄区上郷町1562-1
045-894-7474

◇次号の発行予定◇NO.83は平成26年9月末頃の発行予定です。

平成26年6月発行



横浜市環境創造局みどりアップ推進課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 tel)045-671-2624 fax)045-224-6627
【よこはまの森ニュースレター HP アドレス】http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kyoudou/morivolunteer/mori-news.html

保全管理計画フォローアップ研修 実施報告

愛護会など地域の皆様とともに森の将来像と実際の維持管理について定めた「保全管理計画」※のフォローアップとして、管理作業の成果の確認や今後の作業方針などについて学ぶ研修会を行いました。

※保全管理計画の説明は、よこはまの森ニュースレターNO.75(平成24年10月発行)に掲載しています。

日時・場所 平成26年5月8日(木)14時～16時
鯉ヶ久保ふれあいの樹林

参加人数 15名

内容 講師：神保賢一路氏

保全管理計画で設定したゾーニングのエリア毎に、愛護会による草刈等の作業により見られるようになった野草(キンラン、ホウチャクソウなど)や、今後の作業方法について確認しました。また、今後の作業成果を実感できるよう、キンランのモニタリング調査(毎年継続して生育数や場所を記録する調査)を開始しました。その他、スローウェイト(右写真)を用いた枯れ枝除去の実演も行いました。

「季節や場所によって草刈の高さが違うことなどよく理解され、ノカンゾウを刈り残すなどの工夫も見られるため、今後に期待が持てる」という講評がありました。

愛護会長の感想

モニタリング調査シートをつくっていただいたので、引き続き調査を行っていきたい。管理とは、目的・目標を達していくこと。みなさんの力を借りながら、達成していきたい。



写真上：講師による草刈アドバイス
写真下：枯れ枝にロープをかけるために使うスローウェイト

これも覚えよう!30種「春の山野草30種」実施報告

春の山野草の美しさに触れ、植物と環境の関係を楽しく学ぶ研修を開催しました。

日時・場所 平成26年4月21日(月)、22日(火)10時～15時30分
新治市民の森、新治里山公園

内容 講師：北川淑子氏(神奈川県植物誌調査会)

観察会に先立ち、谷戸や管理の重要性のほか、植物の花びらや葉の形から山野草を見分けるポイントについて講義があり、その後、市民の森に出て観察を行いました。里山の裾刈りをしたことで見られるようになった山野草の説明を受けたほか、事前に配られた環境図に見られた山野草名を記録し、環境によって見られる植生が違うことを学びました。

参加者の声

- とてもためになった。どのような森を作っていきたいか、自分達が考えていかなければならないという話がとてもよかった。
- たくさんの植物が見られて楽しかった。
- 植物だけでなく鳥や虫やその他の生き物についても知りたかった。

今後の予定

これも覚えよう!30種「初夏の虫30種」

日時 平成26年7月10日(木)、11日(金) 10:00～15:30

場所 新治市民の森、新治里山公園

申込開始 平成26年6月17日(火)10時～
◆先着順◆

定員 両日各15名

内容 初夏の里山で見られる虫を観察し、生態や生育環境について学び森づくりに役立てる。

申し込み 環境活動支援センター



平成26年度の森づくり活動支援のご案内

横浜市では、「横浜みどりアップ計画」(計画期間:平成26-30年度)として、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を理念に、市民や事業者の皆様と連携しながら「市民とともに次世代につなぐ森を育む」取り組みを行います。森づくり活動の支援として、森づくりに関する研修、活動に対する助成、道具の貸し出し、専門家の派遣などを行います。



森づくりに関する研修

平成26年度も引き続き、横浜市から承認を受けた「森づくり活動団体」の方や「森づくりボランティア」の登録者等を対象に、森づくりの活動スキルなどを学ぶ研修を開催します。また、これらの研修を通して、「森づくり活動団体」と「森づくりボランティア」相互の情報交換や橋渡しを行います。

受講対象者

- 般 一般の方
- ボ 森づくりボランティア(登録済)の方
- 団 団体の方

注意：研修名、テーマは今後変更になる場合がありますのでご了承ください。

般 ボ 「森づくりボランティア入門講座」

・森づくりの魅力や基本的な事項を学ぶ
・森の管理作業の基本(道具の使い方、KY、役割等)を体験する

10~11月頃
(予定)

これも覚えよう！30種シリーズ

ボ 団 「春の山野草30種」
・山野草を観察し名前を覚え森づくりと管理に役立てる

4月に実施済

ボ 団 「初夏の虫30種」
・昆虫の生態と森づくりの重要性の係りを知る

7月10日・11日
実施予定

ボ 団 「秋の樹木30種」
・樹木の特性や名前を覚え森づくりと管理に役立てる

9月~10月頃
(予定)

ボ 団 「作業実習」

・順応的管理の考え方と計画的な作業の必要性
・一日の作業計画等の準備と安全管理
・生物多様性を意識した作業と道具の使い方

11月頃
(予定)

ボ 団 「森や里山の役割と管理」

・森づくりの重要性や里山の管理方法
・調査の記録方法 など

11月頃
(予定)

団 「安全管理研修(必修)」
・森づくり活動中の事故事例と対策
・危険予知(KY)活動について

11月頃
(予定)

団 「救命救急研修」
・けがや事故等への対応方法
・AEDの使用法 (AED貸出団体は必須)

2月頃
(予定)

団 「間伐材マネジメント研修」
・間伐材の有効活用方法
(今年度新規にチップ化作業支援を受ける団体は必須)

10月~11月頃
(予定)

団 「森づくりリーダー養成講座」
・安全な樹木の伐採方法

11月~12月頃
(予定)



森づくり団体の活動費用を助成します

森づくりに関係する下記の項目にあてはまるものは、必要な費用の8割を助成します。1団体1年度あたり助成上限額は10万円です。

計画的な森づくりを推進する活動

森づくり活動を担う人材の育成に関する活動

樹林地の利活用を促進する活動

対象者 ▶ 森づくり活動団体、市民の森愛護会、ふれあいの樹林愛護会
募集期間 ▶ 平成26年6月1日~平成27年1月31日(必着)
※事業を行う2か月前までにご相談ください。



森づくりに必要な道具を貸し出します

森づくりに必要な広報用、安全対策用、作業用等の道具の貸し出しを行います。貸し出し可能な道具：ヘルメット、カマ、皮手袋、ポイズンリムーバーなど他。

対象者 ▶ 市民の森愛護会、ふれあい樹林愛護会、森づくり活動団体
申請締切 ▶ 平成26年7月11日(金)
※貸出道具一覧表から必要な道具を選び締切までにお申し込みください。
※貸出道具一覧表が必要な方は、環境活動支援センターまでご連絡ください。



森づくりの課題解決のためアドバイザーを派遣します

森づくり活動を行ううえで課題となっている課題解決に向け、専門家(アドバイザー)を派遣します。

対象者 ▶ 市民の森愛護会、ふれあい樹林愛護会、森づくり活動団体
※募集件数に限りがありますので、みどりアップ推進課までご連絡ください。



これまでみどりアップ推進課が担当してきた森を育む人材の育成事業の窓口が平成26年4月1日から変更になりました。

森づくりに関する研修	環境活動支援センター TEL.711-0635
樹林地管理団体活動助成事業	市民の森等 環境活動支援センター TEL.711-0635
道具の貸出し	都市公園 公園緑地維持課 TEL.671-2650
アドバイザー派遣	みどりアップ推進課 TEL.671-2624